

学校関係者評価一覧

平成26年度自己点検・自己評価項目に添い、学校関係者評価委員に本校の自己点検結果について

採点と講評をいただきました。

その結果一覧について以下公表いたします。

なお数値化された採点の評価基準については以下の通りです。

5:極めて適切に行われている／極めて適切な形で存在する／極めて積極的に行われている／他の模範となる

4:適切に行われている／適切な形で存在する／積極的に行われている

3:中間

2:適切さにやや欠ける／存在するが適切さに欠ける／消極的にしか行われていない

1:適切でない／存在しない／行われていない

N:情報不足により評価できない

平成27年9月25日
学校法人河合塾学園
トライデント外国語・ホテル・ブライダル専門学校
校長 坂本 直之

◆基準1 教育理念・目的・育成人材像

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	平均	コメント
1-1 教育理念・教育目的・育成人材像について	4	4	3	5	5	5	4.3	委員3:硬い、より平易、判り易く具体的に 委員4:適切
1-2 独自性の高い教育手法について	4	4	3	5	5	4	4.2	委員3:新たな時代の先取りを求める、金沢工大を参考に 委員4:適切 委員6:産学協同プログラム、インターンシップの強化など早期確立が望

◆基準2 学校運営

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	平均	コメント
2-1 運営方針・事業計画について	4	4	4	5	5	5	4.5	
2-2 組織と意思決定の概要について	4	4	3	5	5	4	4.2	委員3:時代の流れに敏感に反応できるか疑問
2-3 組織の活性化について	4	4	3	4	5	4	4.0	委員3:仕組みではなく結果重視としたい
2-4 業務効率化・情報システムの整備について	4	3	2	4	5	4	3.7	委員3:時代に即応させてITを取り込む姿勢に乏しい

◆基準3 教育活動

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	平均	コメント
3-1 各学科の概要・学修目標について	4	4	2	4	5	5	4.0	委員3:更なる将来の構想が必要
3-2 教育目標とカリキュラムについて	4	4	4	4	5	4	4.2	
3-3 カリキュラムの編成体制について	4	4	3	4	5	4	4.0	委員3:よりダイナミックな編成に期待
3-4 各学科のカリキュラム編成について	4	4	3	5	5	4	4.2	委員3:語学系をより実務に即したカリキュラムへ
3-5 専門教育と一般教育について	4	4	3	5	5	3	4.0	委員3:カタカナ用語では無く、具体的な日本語使用 委員6:学生から社会人として世の中に出て行く知識の習得がより必要
3-6 外部の協力体制とその反映について	3	3	5	5	5	3	4.0	委員1:全日空ホテルグランコート名古屋は旧名 委員6:ホテル・トラベル・エアライン等のみならず、それらの顧客である 諸企業との連携が必要
3-7 インターンシップの実施について	3	3	4	5	5	4	4.0	委員3:より具体的な結果を期待したい 委員6:学外に出るインターンシップのみならず企業人を招いて実情に ふれる機会を増加すべき
3-8 カリキュラム編成への協力について	3	4	4	4	5	4	4.0	
3-9 各科目の意義について	3	N	2	5	5	4	3.8	委員3:より明確にその意義を標記する
3-10 専門教育における実習について	3	N	4	5	5	4	4.2	委員3:実習内容の工夫改善に期待する
3-11 授業計画(シラバス)について	4	4	4	4	5	4	4.2	委員3:学生に理解できる内容かの検討も必要
3-12 教育情報の収集について	4	4	2	5	5	4	4.0	委員3:幅広い情報収集によるバランス感覚のある教育改善
3-13 授業評価について	4	4	4	4	5	4	4.2	
3-14 講師の確保・専門性・スキルの把握・向上について	4	3	5	4	5	4	4.2	委員3:より教師の質的向上に努力
3-15 講師間の協力体制について	3	3	2	4	5	4	3.5	委員3:課題解決の研修(講師間の)
3-16 成績評価・単位認定について	4	4	3	5	5	4	4.2	委員3:学生の意欲を高める評価も 委員6:各評価について(+)(-)での細分化も考慮できれば良いと思う
3-17 資格取得に対する考え方について	4	3	3	5	5	4	4.0	委員3:資格は結果であり目標ではない
3-18 附帯教育事業について	4	N	3	5	5	4	4.2	

◆基準4 教育成果

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	平均	コメント
4-1 就職について	4	3	4	5	5	4	4.2	委員3:より即戦力となる様期待
4-2 就職実績について	4	3	5	5	5	4	4.3	委員6:昨年度までと今年度に関して取り巻く社会環境の変化を踏まえての分析が必要
4-3 資格取得について	4	3	4	5	5	4	4.2	委員2:どの程度生かされているのでしょうか 委員3:他の教養系検定も重要だと思う

◆基準5 学生支援

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	平均	コメント
5-1 就職指導体制・就職活動支援について	4	4	5	5	5	4	4.5	委員6:学生はチューターへの依存度が高いので、学生・チューター・就職室の3者面談を考慮いただきたい
5-2 就職指導の全体方針について	4	4	5	5	5	4	4.5	
5-3 日本語学科の進路支援について	4	N	4	5	5	4	4.4	
5-4 学生相談室について	4	N	2	5	5	4	4.0	委員3:多言語対応の充実
5-5 クラス担任制について	4	N	3	5	5	4	4.2	委員3:より一層の工夫
5-6 留学生受け入れについて	4	N	3	5	5	4	4.2	委員3:今後、南アジアの増加への対応を求める
5-7 経済的支援について	4	N	4	4	5	4	4.2	委員3:より一層の工夫
5-8 奨学金制度・学費分納制度について	4	N	4	4	5	4	4.2	委員3:より一層の工夫
5-9 健康支援について	4	N	4	4	5	4	4.2	
5-10 クラブ活動について	4	N	3	4	5	4	4.0	委員3:多様な課外活動の推進
5-11 卒業生支援について	4	N	2	4	5	4	3.8	委員3:言葉よりも実行 委員5:ご協力させていただきます 委員6:コンプライアンス上の問題があるものの就職先へのアプローチは行って欲しい
5-12 退学について	4	N	3	4	5	4	4.0	委員3:再復帰の道も考慮

◆基準6 教育環境

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	平均	コメント
6-1 施設・設備の整備状況について	4	4	3	4	5	4	4.0	
6-2 防火・防災体制について	4	4	4	4	5	4	4.2	委員4:防災訓練年2回実施
6-3 保健・衛生管理について	4	4	4	4	5	4	4.2	
6-4 インターンシップについて	3	4	4	4	5	4	4.0	委員3:より一層の推進 委員6:他業態(製造業・物流など)へも打診して欲しい
6-5 海外研修について	4	N	3	4	5	3	3.8	委員3:東南アジアへの実施 委員6:費用・期間も考慮したアジアでの研修が必要

◆基準7 学生の募集と受け入れ

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	平均	コメント
7-1 学生募集の考え方・入学案内書・問い合わせ対応について	4	4	4	5	5	4	4.3	
7-2 卒業生の活躍のアピールについて	4	4	3	5	5	4	4.2	委員3:より一層の充実
7-3 入学選考について	4	4	3	5	5	4	4.2	委員3:より一層の工夫

◆基準8 財務

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	平均	コメント
8-1 予算について	4	N	4	N	5	4	4.3	
8-2 監査・財務情報公開について	4	N	4	N	5	4	4.3	

◆基準9 法令等の順守

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	平均	コメント
9-1 法令などの順守について	4	4	4	5	5	4	4.3	
9-2 個人情報保護について	4	4	5	5	5	4	4.5	
9-3 学校自己点検・評価について	3	4	4	5	5	4	4.2	
9-4 学校関係者評価について	4	4	4	5	5	4	4.3	

◆基準10 社会貢献

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	平均	コメント
10-1 地域への貢献について	4	N	4	5	5	4	4.4	委員3:駅前の立地を生かした社会貢献へ
10-2 海外の教育機関との提携について	4	N	3	5	5	4	4.2	